



# いずみ

令和8年1月8日発行

<学校教育目標>  
自ら行動する子  
かかわり合い、  
よりよい自分を  
目指す子

学校HP



(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>

校長 鷲見 真太郎

## 子供と大人が協働する和泉小学校へ

副校長 淋 慎一郎

新年おめでとうございます。2026年の幕開けです。皆様におかれましては、新春を迎え、健やかな日々をお過ごしのこととお慶び申し上げます。また本校の教育活動に多大なるお力添えをいただき、感謝申し上げます。

今年午年で、丙午（ひのえうま）の年になります。今年もどんな年になるか調べてみました。まず『丙』には、十干（じっかん）の3番目で「火の陽」の要素をもち、エネルギッシュで積極的な性質をもち、『午』も「火」に属し、スピード感や行動力を象徴しています。この『丙』と『午』が合わさった『丙午』は「火の要素」が強調され、60年に一度巡ってくる、新しい挑戦に向いていて、勢いのある年と言われています。つまり【エネルギッシュで、新しいことに挑戦するにはもってこい!】の年といえるのではないのでしょうか。

（参考：Copilot）

さて2026年は、【エネルギッシュで、新しいことに挑戦するにはもってこいの年】と述べました。そこで12月に、来年度に向けて4年生以上の子供たちに「よりよい和泉小学校にしていくために」というテーマでアンケートを実施しました。現在、結果を集計しているところです。その中で、キーワードとなってくるものを挙げてみます。

アンケート項目の中に、『自分たちにできること』という項目があり、子供たちからは、「議題ボックスで企画する」「児童運営委員（いずみサミット）」「対話」というワードが挙がりました。これまで、和泉小学校が大切にしてきた【話し合いを通じ、自分たちの学校を作る】ことや【自己実現を図り、子供が主体となる学校】という意識が、また【対話を通じた、自由の相互承認】という意識が、少しずつ醸成されてきていると実感することができました。

子供たちの「よりよい和泉小学校」にしていくために、対話を大切にしながら、自分たちの力で変えていこうとするエネルギーを感じました。私たち教職員は、子供たちの主体性をさらに伸ばすため、活躍の場の創出だけではなく、子供たちとの「対話」を通じ、最上位目標は何か、その目標に迫るためにどうしたいか、どうすればよいか問いながら、サポートしていく必要があります。もちろん、保護者の皆様や地域の皆様のお力も必要です。子供たちの思いを実現していくために、コミュニティスクールとしての強みを強化し、地域と協働した活動を進めるために、カリキュラムマネジメントを推進し、教育活動を進めて参ります。これからも和泉小学校の子供たちを支え、見守っていただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、和泉小学校の子供たち、保護者の皆様、地域の皆様、そして和泉小学校を支えてくださるすべての皆様にとって、素敵な年になることを心よりお祈り申し上げます。

### 1月の安全指導

#### 安全で落ち着いた学校生活・安全な登下校

○落ち着いた生活を送れるように、計画を立てて見通しをもって行動する大切さを伝えていきます。また、廊下や登下校の歩行についても安全指導を行い、安心して学校生活を送れるように見守っていきます。

※1月の避難訓練は予告なしで行うため、行事予定に記載しません。ご承知おきください。